



稲永 信英 議員

わかりやすい街づくりのために新しい住居表示を 合併を見据え前段の協議を進めていく

問 今、使っている番地で住所を表示する方法は、番地が順序よく並んでいなかったり番地が数千番台あるいは番地に枝番がたくさんあったり、町境が複雑に入りこんだり、わかりにくく、特に大字何々が広すぎたりと大変不便な思いをしています。人口や世帯数の増加により混乱の度合いはますます深まってきております。

答 目的の家が探しにくく消防業務・救急業務・郵便業務・宅配等にも支障をきたしていると考えられます。

また、住民基本台帳・選挙人名簿など各種の行

答 中嶋町長 過去にも質問がされており、その時は多額の費用がかかりもつたいない、宅配や郵便の人たちに便利ということだけでは、多額の費用を投じてするものでもない、町民が困

政事務が煩雑になり効率の低下と住民サービスの低下にもなっています。わかりやすい街づくりのために「新しい住居表示」の整備に取り組みされる考えはないか。



住居表示がされている「宇美町」

っている状況であれば、ある程度検討に入っていかなければという答弁がされていました。

合併等になれば一つの市になるわけですから、何丁目何番地ということをやっつけていきたいと考えます。

そういう事前の検討会をつくりそこから入っていけばちょうど合併時ぐらいには方向性が出てくるのではないかと考えています。

新市に向けてやってい

こうということであれば私は必要性はあると思っていますが、非常に厳しい状況下にありますので区長会等でやはり検討していきたいということもありません。

職員も区長会の方に打診をし、検討に入ってきたということですので、今、即できるという問題でもないわけですが、合併と同時にやはりその方向性は出しておかなければならないと思っています。

出来るの！ 広域合併

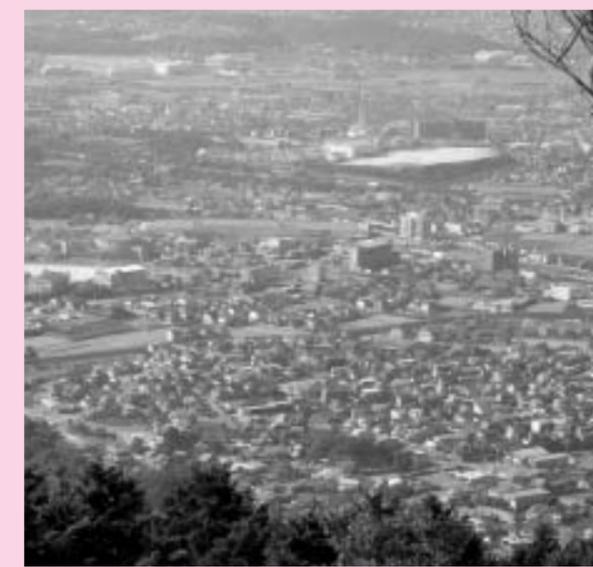
全力で取り組みたい



豊永 主 議員

問 各町、財政上の温度差があると思うが、果たして乗り越えることが出来るだろうか。

答 中嶋町長 六町の合併、それが実現可能かという話ですが現時点では何も言えないというのが実のところですが、やれるということから出発しなければ、それは成立しないと思っておりますので、やれるという自信を持って今、六町合併に向けて進んでおります。行政間の温度差等もありますけど、合併となると一人一人、主体は住民でありますので、町民の方々がどのように思われるかということが一番大



岳城から見る景色

事であり、そのところの不安を取り除くということだが、この合併に向けて一番大事なところではないかと思っております。六町合併の推進をしていく中で発言を積極的に行うのは、私の立場ではないかと思っておりますので、その辺を理解しながら合併に向けて全力で取り組んでまいりたいと思っております。

できるかできないかということとは、今のところ答えにくい状況です。

問 毎年、恒例化している議員視察研修旅行を必要に応じて行うよう改めたらどうかいかなるものか、議員各位で考えてみよう。

答 中嶋町長 今まで必要であるから、管外の視察研修を行なっ

ておられたと私は認識しておりますし、無駄なことをやっておられたとは思っておりません。

今の町の抱えている問題点、それをクリアさせるために議員として資質を高めようということであれば、当然その研鑽を積まれてほしいと思っております。

その辺は議員内部で検討していった方がいいかと考えます。

今後、研鑽を積んで資質を高められることを期待します。

やめよう！ 管外視察研修旅行

議員内部で検討